

「SUPER GT」は、高性能なGTカーをベースとしたレーシングカーで争われる自動車レースのシリーズ戦です。エキサイティングなレース内容と高い観客動員を誇る国際シリーズとなっています。KeeperはGT500の38号車「Keeper CERUMO GR Supra」、100号車「STANLEY NSX-GT」、GT300の61号車「SUBARU BRZ R&D SPORT」の3チームにスポンサーしています。

3月24日には富士スピードウェイで開幕直前の公式テストが行われました。天気の変化が激

しく、午前はドライタイヤ、午後はレインタイヤでの走行となりました。最終のテスト走行では、前日の雨の影響で赤旗が出て途中終了になった分、通常より30分長い走行となりました。天候に左右された公式テストは38号車13位、100号車5位、61号車2位という結果でした。

4月13日、14日に岡山国際サーキットでついに開幕します。開幕直前に、3チームともEXキーパーを施工させていただきました。EXキーパーを纏ったマシンは岡山戦でお披露目されます!ツヤツヤな3台のマシンで挑みます。

38号車「Keeper CERUMO GR Supra」



Keeperのカラーである青と白と黄色と黒をベースにラインが引かれています。SUPER GTは青い車両が多いが、その中でもこのカラーリングが「Keeper CERUMO GR Supra」の車両だとしっかりわかる特徴的なデザインになっています。

100号車「STANLEY NSX-GT」



チーム監督である小島一浩さんによるデザイン。ベースカラーのセミマットシルバーのグラデーションとスポンサーロゴ、グランジパターンのコントラスト比からマシンの強さや鋭さが表現されています。

61号車「SUBARU BRZ R&D SPORT」

2024年マシンのカラーリングは基本的に2023年仕様を踏襲、しかし新しい試みとしてループにデザイン化されたゼッケン61を配して、特にグランドスタンドから観戦するお客様に、さらにBRZをアピールできるようにしています。



SUPER GT 2024シリーズ スケジュール

	日程	会場
Rd.1	4/13(土)14(日)	岡山国際サーキット(岡山県)
Rd.2	5/3(水祝)4(木祝)	富士スピードウェイ(静岡県)
Rd.3	6/1(土)2(日)	鈴鹿サーキット(三重県)
Rd.4	8/3(土)4(日)	富士スピードウェイ(静岡県)
Rd.5	8/31(土)9/1(日)	鈴鹿サーキット(三重県)
Rd.6	9/21(土)22(日)	スポーツランドSUGO(宮城県)
Rd.7	10/19(土)20(日)	オートポリス(大分県)
Rd.8	11/2(土)3(日)	モビリティリゾートもてぎ(栃木県)

また、2024シリーズは「CERUMO」とタッグを組み、クルマ好きユーザー層に対してKeeperのブランドイメージをより深く訴求していくとともに、日本国中のキーパープロショップ、キーパー施工店を応援すべく、フルカラーのKeeper号でスーパーGT 2024シリーズに挑む方針です。応援企画も計画中です!Keeper応援グッズを身に着けてスタンドで応援しましょう!



Evolution!! キーパーと進化する注目の企業インタビュー



キーパーコーティングのグリップ力が強み!
【激落ち】浴槽、シンク&洗面台のコーティングを発売

当社の主力商品である「激落ちくんシリーズ」は、界面活性剤を使わず水だけで汚れを落とすことをコンセプトとし、メラミンスポンジからはじまり、マイクロファイバーやアルカリ電解水などエコな洗浄剤も開発・販売してきました。しかし近年では、ついた汚れを落とすという作業を繰り返すのではなく、汚れをつかないようにする「楽(ラク)家事」へと視点を向けています。



「激落ちくんシリーズ」を主力商品とするレック株式会社(本社/東京都中央区京橋)が、キーパーと共同開発した「笑劇SHOCK」浴槽、シンク&洗面台コーティングの2種と下地処理クリーナーを販売。

当社は環境・世界的な傾向も考え脱フッ素を行っており、シリコンなどの撥水メーカーを探さずキーパーを発見したのです。これまでキーパーには洗車やコーティング「作業」の印象が強かったですが、ケミカルの開発製造や汚れをつけないための研究もされていることを知りました。キーパーの「汚れにくい」「洗車の回数が減る」というメリットは当社の製品が目指しているところと共通しており、シナジー効果を産むだろうと確信しました。

浴槽、シンク、洗面台の素材であるステンレスやFRP、セラミックなどと相性の良いケミカルを研究する中、一番の懸念は浴槽でした。汚れをつけないためには汚れが水と一緒に滑り流れるような撥水力がなければなりません。しかし、汚れが滑れば人も滑りやすくなります。既存のコーティング材には使用不可などの注意書きがされているものがほとんどでした。しかし、キーパーのコーティング材にはグリップ力があるのです。これには驚きましたね。また皮脂汚れの主成分である強力なオレイン酸もキーパーの撥水・防汚力でほとんど落ちてしまいました。洗浄力、防汚力、撥水力、グリップ力とニーズの塊でした。シンクのコーティングは厚塗り、細かい傷に光が反射してくすんで見えるシンクも、コーティングが傷の凹凸に入り込み、しっとりとしたきれいな状態が半年も保てます。使用環境や状況に応じて半年以上もつ場合もあるので、お客様の満足度は高いと思います。これからホームセンター、大型スーパー、専門店などで販売がはじまります。まず初期購買の販促活動に力を入れ、使ってみてもらえれば、おのずとリピーターは増えていくと期待しています。そしてキーパーと協同でトライ&エラーを繰り返し、市場を開拓していきたいと思っています。



(左から)新素材開発部副部長の田中さん、営業企画部のアリアタさん、ウェルネス部長の萩原さん。ディスプレイや実演販売など販促活動も精力的に展開中!



塩分やミネラル汚れもサッと落ちる!
オフシーズンの売上にも貢献

船の汚れの最も大きい原因は「塩」です。海を走ると水しぶきが立ち、塩分やミネラルが乾いてボディに残って汚れ、またサビの原因にもなります。その汚れを取るのには容易ではありません。船を所有するオーナーは忙しい方が多く、年に数回しか船に乗る機会がありません。そんな貴重な休日が掃除で潰れてしまうのは大きな問題です。これを解決するのにキーパーコーティングがぴったりなのではないかと思いついたのがちょうどコロナの影響で事業に大打撃を受けたころでした。そこからキーパーと協同研究を重ね、昨年「マリンEXキーパー」を販売開始しました。汚れがついてもすぐに落ちることを実感しています。ボディについてしまったホコリが決まったところから流れる雨とともに垂れてきた汚れも、コーティングをしていればミネラルオフでサッと落ちてびっくりしました。船を売る際、外観がキレイで整備がされていればその価値はグンと上がります。



東京湾を中心としたクルーズ事業を運営する株式会社ジールとキーパーが共同開発した「マリンEXキーパー」施工第1号のマリンエックス。日本最大級の大型マリーナ「夢の島マリーナ」に置かれ、「マリンEXキーパー」の広告塔として輝いている。

当社としても大いにメリットがあります。船舶ビジネス上、オフシーズンが3~12月くらいで、1、2月はオフシーズンになります。しかしコーティング施工は船の動かない冬場がベストシーズン。夏はむしろ暑すぎて人ももたないし、ケミカルがすぐ乾いて作業効率が悪いのです。オフシーズンにも売上を見込むことができます。またコロナ後、当社では売上分散体制を整えています。メインの観光業・飲食業だけではパンデミックが再び起こればダメになります。そこででもともと細々とやっていた船の売買・



代表取締役の平野さん。コロナ禍、たまたま観ていた「カンパリア宮殿」でキーパーを知り、直感的に「船も施工できるのでは」とすぐにキーパーに連絡。この船で実験を繰り返し、「マリンEXキーパー」が誕生したのです。

管理を事業の柱として立て、バランスの取れた運営を目指しています。多くのオーナーの船にコーティングをして関係性や信頼を深め、船の管理や売買、または運用の提案などもさせていただくことで事業を拡大していく。こういったオーナーとのつながりづくりにもコーティングは貢献しています。

現在、3艇ほど施工をさせていただき、好評です。今度はバスフィッシングボートに施工予定です。バスフィッシングされる方はただ釣るのではなく、船のデザインや外観なども含めフィッシングスタイルを楽しまれる方が多いです。そんな方々に口コミで普及し、広がっていくことも期待しています。